

社教委員会研修事業「勝鬨寺見学会」

令和4(2022)年9月24日(土)に、学区社会教育委員会研修事業として三河一向一揆三ヶ寺の一つである勝鬨寺(針崎町)の見学会が開催されました。

未明に最接近した台風15号の影響が心配されましたが、幸い秋晴れとなり、小学生からご高齢の方まで幅広い年代の方々43名が参加し、徒歩で参集された方も多くみられました。

全国的にも有名な近所の寺院でありながら、あまり知らなかった勝鬨寺の歴史を裏話や逸話も交えて住職の安藤哲さんから直接説明していただき、皆さん興味深く聞き入っていました。

説明後は、普段なかなか入れない内陣や余間の法宝物などを間近に見せていただきました。

今回の見学会を通じ、地元の文化財をより知っていただける良い機会になり、今年の大河ドラマ「どうする家康」で一向一揆や勝鬨寺がどの様に放送されるか、ますます楽しみにになりました。

<勝鬨寺の略歴>

- ・1258年：赤渋に三河における真宗最初の道場として創建
- ・1496年：矢作川の度々の洪水を避けるため、針崎(現地)に移転
- ・1563年：三河一向一揆が勃発 多くの武将が立て籠もり家康軍と対峙し、三ヶ寺の中でも岡崎城に近かった勝鬨寺付近は激戦地となる
- ・1564年：一揆の和睦後、家康軍が勝鬨寺等の真宗寺院を焼き討ちする
- ・1615年：東西十一間半・南北九間半、柿葺きの仮本堂を再建
- ・1734年：総檜造り瓦葺きの現本堂が再々建される



講演する勝鬨寺住職の安藤哲さん



本堂内での講演会の様子

詳細はこちらをご覧ください。



普段なかなか入れない内陣や余間の法宝物などを見学

交通安全協会からのお願い

「自転車も交通ルールを守ろう」



自転車の事故が多発しており、多くは歩行者と自転車の事故で、多額の賠償金を請求されるケースが増えています。

自転車は、免許もいらず子供から大人まで気軽に乗れる便利な乗り物で、多くの方が歩行者と同じ様に思っていますが、自転車は軽車両で自動車と同じ交通ルールです。今回罰則が強化され、「信号無視」「一時不停止」「右側通行」「徐行せずに歩道を通行」のうち悪質な違反は、これまでの「警告」から交通切符を交付し「検挙」されるようになりました。

岡小の周りにも歩車分離の交差点が出来ていますが、自転車は歩行者の信号では通行できません。(「歩行者・自転車専用」の標識が有るところは可)歩行者も自転車も斜め横断は違反になりますので注意して下さい。

また、お酒を飲んで自転車に乗るのは飲酒運転になり違反(5年以下の懲役または100万円以下の罰金)です。

正しい交通ルールを守り、楽しく安全に乗りましょう。

危険な違反行為を2回以上検挙されると



都道府県公安委員会
自転車運転者講習の受講命令

命令を受け3か月以内に
自転車運転者講習を受講

命令を無視して受講しない場合
5万円以下の罰金

内閣府HPより

■学区ソフトミニバレーボール大会

9月18日(日) 岡崎小体育館

残暑厳しい9月18日、岡小体育館で開催されました。暑さ、コロナ、三連休の中日もあって参加チームは例年の半分程度と、少し寂しい開催となりましたが、参加者は元気いっぱいコートを駆け回っていました。大会成績は次の通り。

- ・優勝：若松郷B
- ・準優勝：若松郷A
- ・第3位：栄3丁目
- ・第4位：針崎
- ・第5位：柱郷



■第10回翔南フェスタ

11月3日(木) 翔南中学校

今年はコロナウイルス感染防止の影響で行われていなかった合唱コンクールが3年ぶりに各クラス入れ替え制で開催されました。どのクラスも練習の成果やそれぞれの思いが伝わってくる素晴らしい合唱でした。

また、全校生徒によるアート作品の展示や文化部による作品や演奏の発表、PTAバザーの一環であるランチ販売などもあり、感染防止に努めながらも楽しい秋の一日となりました。



■防災イベント「災害時の避難所運営と車中泊について学ぶ」

11月12日(土) 岡崎小体育館

おやじの会と学区主要団体メンバー総勢約20名で、市防災課の出前講座を活用し、避難所運営について学びました。

また、感染症予防やプライバシー確保の観点で最近注目されている車中泊避難について、準備しておく物や必要な情報などを話し合いました。イベントを通じて、災害時やそれに備えるための具体的な行動を知ることができました。



■学区グラウンドゴルフ大会は中止に

11月20日(日) 岡崎学区市民ホーム2階

学区福祉委員会主催の学区グラウンドゴルフ大会は岡崎小学校グラウンドで17チームが参加し開催される予定でしたが、朝方降った雨によりグラウンドコンディションが不良となり、残念ながら中止となりました。

代って、準備した賞品を分配するためピンゴ大会が学区市民ホームで行われました。各チーム代表2名のチーム戦で、ピンゴを達成したチーム順に好きな賞品を選択し、各チーム内で分配となりました。



■第7回「ぽっぽの会」

11月30日(水) 岡崎学区市民ホーム2階

今回の講座は、「ニコニコ歯磨き子供の健康」でした。歯科衛生士さんから、人形などを使って、仕上げ磨きは「10数えるまでに終わるよ。」「この音楽の間だけね。」



など親子で工夫しながら磨く習慣をつける事の大切さなどのお話を聞きました。



学区福祉委員会活動の詳細はFBを→

岡崎学区 主催：社教委員会・親善クラブ連合会 新春四社巡りウォーキング大会

令和5年1月5日(木) 9:00~12:00

(小雨決行)



稲荷神社 (羽根町)

御鍛神社 (針崎町)

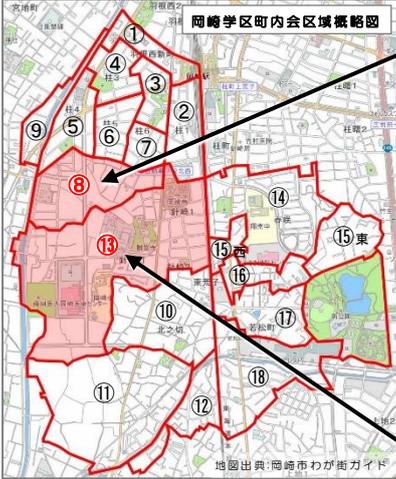
綿積神社 (柱町)

春日神社 (若松町)

*参加申し込み不要、参加費無料です。

*最寄りの神社でスタンプカードを受け取り、各自スタートしてください。

学区町内会だより



- ①羽根西新町 ⑦柱6丁目 ⑬針崎郷
- ②柱1丁目 ⑧柱郷南 ⑭針崎東
- ③柱2丁目 ⑨柱川田 ⑮若松栄1丁目
- ④柱3丁目 ⑩若松郷北 ⑯若松栄2丁目
- ⑤柱4丁目 ⑪若松郷南 ⑰若松栄3丁目
- ⑥柱5丁目 ⑫若松郷東 ⑱若松栄4丁目

赤字：今回紹介の町内会
青字：紹介済みの町内会

< ⑧ 柱郷南 町内会 >

柱郷南は南屋敷、折戸、竹ノ花、権九、畔堤、下地、東浦、林からなり、東地区は古くから、西地区は新しくと新旧二分しております。西地区には岡崎駅南土地区画整理事業内に新設住宅、アパート・商業施設が多くでき、今では戸建数 125、アパート・商業施設 125 の計 250 で、4年前と比べると倍の世帯数になりました。折戸、竹ノ花、権九、下地の4地区は新しく町名を思案中です。

町内のど真ん中を東西へはしる都市計画道路柱町線が令和4年11月から測量・地質調査も始まり【調査位置図】南自動車学校北西交差点から郡界橋間320m(道幅 18m)完成すれば、藤田医科大学岡崎医療センターや安城方面に大変便利な道路に成ります。



< ⑬ 針崎郷 町内会 >

針崎の歴史として明治21(1888)年7月製の針崎村「土地整理實測字現地圖」【写真】があり、東海道線は記入されていない。その時の宅地戸数を調べると現在の針崎東の東カンジが21戸、宮前が14戸、針崎郷の北門(1、2丁目)が41戸、朱印地が寺と宅地2戸で他7字地区は、田、畑、林でありこの時の針崎村戸数は、78戸であった。134年後の現在針崎郷の環境として、駅南区画整理事業も令和7年に完成になり令和5年には区画整理区域内も使用開始になり戸数も現在(503)戸になりさらに戸数が大幅に増加するため他町のように分町を実施する方向で進めている。



岡崎学区 主な行事計画 (1~3月)

月	日	曜	行事	主催団体
1月	5	木	新年四社巡りウォーキング大会	社教・親善
	7	土	新年交礼会	岡崎市
	8	日	消防出初式	岡崎市
	14	土	総代会 1月定例会	学区総代会
	15	日	資源回収(予備日22日)	こども会
	15	日	岡崎市民駅伝大会	岡崎市
	18	水	岡崎いきいきクラブ	福祉委員会
	25	水	子育て支援活動「ぼっぼの会」	福祉委員会
2月	4	土	総代会 2月定例会	学区総代会
	11	土	安全安心市民総決起大会	岡崎市

月	日	曜	行事	主催団体
2月	15	水	岡崎いきいきクラブ	福祉委員会
	19	日	資源回収(予備日26日)	岡小PTA
	22	水	子育て支援活動「ぼっぼの会」	福祉委員会
	26	日	男女ソフトミニバレーボール大会	開放・体育
3月	4	土	総代会 3月定例会	学区総代会
	7	火	翔南中学校 卒業証書授与式	翔南中学校
	9	木	3Cパトローラー斉活動	学区総代会
	15	水	岡崎いきいきクラブ	福祉委員会
	19	日	資源回収(予備日26日)	こども会
20	月	岡崎小学校 卒業証書授与式	岡崎小学校	

岡崎学区 各種団体の紹介

= 岡崎消防団 = 団長 高沢 秀明

消防団は市の非常備の消防機関で、団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を持つ非常勤特別職の地方公務員として「自らの地域は自ら守る」の精神に基づき、消防防災活動を行っています。

岡崎消防団は、岡崎・城南学区を管轄し、1部~5部の体制で、岡崎学区は1部(柱・羽根西新)、4部(針崎郷・若松郷)、5部(針崎東・若松栄)です。定員は60名ですが現在の実員は55名。消防団員大募集中です。今後も住民の皆様とともに安心安全な岡崎学区を守るためにがんばります。

= 交通安全協会 = 会長 北澤 勝

岡崎市交通安全推進協議会と高齢者交通安全推進協議会の委員のとして、主に次の様な活動内容を行っています。

- 1 春・夏・秋・年末・交通安全市民運動等への協力参加
- 2 地域における交通安全啓発活動の協力や高齢者を中心とした交通安全教室への積極的な参加
- 3 地域における交通安全施設の安全状況を把握し警察や行政機関等に報告・連絡・相談等

